

きく組

— 2学期の目標 —

- ◎ 自分の考えや思いを相手に伝え、友だちと意見を出し合いながら、活動をすすめていく
- ◎ 様々な活動に意欲的に取り組み、苦手なことや困難なことにも挑戦する気持ちを養う

— 活動内容 —

ドキドキするなぁ～！

(健康な心と体、自立心、思考力の芽生え、社会生活との関わり
豊かな感性と表現、言葉による伝えあい)

- ・ 運動会では、1学期に取り組んできたことの発表ができたらと思い、リズムあそびの中での表現内容と鉄棒を表現で披露することにした。
- ・ 鉄棒では、自分で挑戦したい技を選び、それに向けて練習を重ねてきた。
- ・ 思うようにできず、技を変える子どももいたが、涙を流しながらも諦めずに何度も挑戦する姿が見られた。
- ・ 友だちができるようになると一緒に喜ぶ姿や、励まし合う姿もあった。又、コツを教え合っていた。
- ・ 家庭でも、鉄棒を公園で練習をしてきたことや相談にのってもらった話なども聞くことができた。
- ・ 戸外遊びでは、2学期間ずっとさまざまな技に挑戦する子どもがたくさんいて、披露し合う姿がたくさん見られた。
- ・ リズム遊びでは、1学期より繰り返し取り組んできたこともあり、体の使い方やバランス感覚が向上し、自信をもって取り組む姿に繋がってきた。



みてみて～♪

(協同性、思考力の芽生え、社会生活との関わり、言葉による伝えあい、思考力の芽生え、豊かな感性と表現)

- ・ 2学期は、就学前を意識して歩く機会をたくさん設けた。
- ・ 同じ道をあるくことで、葉っぱの色の変化や季節の変化を感じることができた。又、田んぼ道など初めて歩く道では、周りの景色に興味を持ち、指差しをしながら言い合う姿が見られた。
- ・ どんぐりバックを作り、散歩に行き沢山拾うことができた。帽子がついたものや、場所によってどんぐりの大きさも異なり、違いを友だちと話す子どももいた。拾ってきたどんぐりで、壁掛けを作った。散歩に出かけたことを振り返りながら作る姿が見られた。
- ・ 公共の場でのルールや交通ルールを意識する姿が増え、友だち同士声を掛け合い、列を整えたり、友だちを気にかける姿が増えてきた。
- ・ 歩きながら、「あれなに？」など、さまざまな会話が聞かれた。
- ・ すれ違った人に挨拶をする子どもが増えてきた。
- ・ 転倒する子どもが減ってきて、周りをみながらしっかりと歩けるようになってきた。



— 2学期の反省 —

- ・ 運動会を通して、友だちと動きをそろえたり、タイミングをあわせたりしてきたこともあり、協調性や集団意識の高まりを感じた。友だち同士、話し合いを重ね、取り組んできた様々なことが遊びに繋がり、その中で自分の思いを言葉で伝えようとする姿がたくさん見られた。しかし、自分の思いばかりを通そうとする場面も多々見られ、トラブルになることもあった。保育者が間に入り、気持ちを整理し、解決しようとする経験を積みながら、場面ごとに状況を振り返り、クラス全体でも話し合いを重ねてきた。
- ・ クラス全体が、見通しを持って行動する力が育ってきていると感じている。又、お互いに声を掛け合い、手助けしようとする関わりが育ってきているように思った。自分の思いを言葉で伝えたり、相手の話しを聞こうとする姿が増えてきているので、見守りながら過ごしていきたい。

— 3学期の目標 —

- ◎ 集団行動へ主体的に参加し、友だちと協力して遊びや活動を進め、互いの意見や気持ちを認め合い、折り合いをつけながら解決する力を養う
- ◎ いろいろな行事や活動の中で自分の成長を振り返り、周囲の人への感謝の気持ちを持ち、就学に向けて期待を高めて過ごす

